

令和5年度（2023年度）行政評価シート【個表】

令和 5 年 8 月 10 日

評価対象事業		評価者	商工課長 箱崎 泰一	
市民-23	商工業振興事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	商工課
重点事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	産業振興	施策の方針	商工業振興の充実

1 事業の目的

対象	事業者等
意図	創業支援、新規に立地する企業に対する支援、市内における企業の設備投資及び中小企業者の経営革新に対する支援等を行い、商工業の振興を図るため。
効果	地域産業を振興し、雇用の創出と税収の確保を図る。

2 令和4年度(2022年度)に実施した事業の概要

地域の資源等を活用して創業する者に対し、事業化に要する経費の一部を助成するとともに、円滑に事業を実施できるようアドバイザーを派遣した。  
 企業誘致活動の推進を図る協議会に加入し、情報の収集及び発信並びに関係機関との連携を図った。  
 鎌倉テレワーク・ライフスタイル研究会の活動として、テレワークに関する研究、情報発信等を行った。  
 市内事業者が情報発信・交流することができるサイトを運営した。  
 公益財団法人神奈川産業振興センターが実施する経営アドバイザー派遣事業の利用者が支払う費用の一部を助成した。  
 市内事業者が実施する地域及び地球環境との共存・共生を図るための施設整備事業に要する経費の一部を助成した。  
 中小企業者が実施する人材育成事業、産業財産権取得事業、展示会等出展事業の経営基盤強化事業に要する経費の一部を助成した。  
 情報通信業等が市内に立地する際に要する経費の一部を助成した。  
 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている市内事業者を支援するため、キャッシュレス端末を活用した経済対策に要する経費を助成した。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和4年度		令和5年度	達成度	
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)		
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)		
01	商工業元気アップ事業	商工業元気アップ事業費補助金	補助金助成件数(件)	2 / 2	2,189 / 2,204	2件 2,179	100.00%	
02	企業・求人情報発信サイト運営事業	企業・求人情報発信サイトの運営	鎌倉市企業・求人情報発信サイトへのアクセス数(件)	174,378 / 184,910	858 / 858	179,609 858	94.30%	
03			鎌倉市企業・求人情報発信サイトに登録している事業者の数(件)	184 / 171	/	189	107.60%	
04	リーフレット作成	企業立地等促進条例の改定に伴う周知啓発用リーフレットの作成	—	- / -	231 / 274	0	-	
05	テレワーク推進事業	鎌倉テレワーク・ライフスタイル研究会の運営	鎌倉テレワーク・ライフスタイル研究会に登録しているテレワークスペースの数(箇所)	16 / 20	0 / 0	16 0	80.00%	
06	経営アドバイザー派遣助成事業	経営アドバイザー派遣事業補助金	経営アドバイザー派遣事業補助金による助成件数(件)	9 / 2	169 / 110	6件 330	450.00%	
07	環境共生施設整備助成事業	環境共生施設整備費補助金	環境共生施設整備費補助金による助成件数(件)	1 / 1	822 / 3,000	1件 3,000	100.00%	
08	中小企業経営基盤強化助成事業	経営基盤強化事業費補助金	経営基盤強化事業費補助金による助成件数(件)	5 / 5	1,298 / 1,500	8件 2,400	100.00%	
09	企業誘致等助成事業	企業立地整備費等補助金、企業誘致協議会加入	企業立地整備費等補助金による助成件数(件)	4 / 4	4,423 / 12,041	5件 15,091	100.00%	
10	鎌倉応援キャッシュレス割引キャンペーン事業	商工会議所への事業費補助金	キャンペーン加盟店舗数(件)	985 / 1,500	267,100 / 267,100	0	65.67%	
11	起業家スタートアップ支援事業	起業家スタートアップ支援プログラム業務委託料		/	/	4,000		
			国県支出金	257,716 / 267,100				
			地方債	/				
			その他特定財源	19,374 / 19,987		27,858		
			一般財源	0 / 0		0		
事業費の合計(千円)				277,090 / 287,087		27,858		
人件費(千円)					14,432	14,807		

#### 4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	2.0	2.0	1.9	1.9		
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	0.0		

#### 5 評価結果

##### (1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、 目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、 構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	商工業元気アップ事業	指標:補助金助成件数(件)  指標分析: 創業部門1件、事業定着部門1件 を採択、目標を達成した。	創業希望者に特化した制度にリ ニューアルすることで、市内で開業 を予定している起業家が目指す目 標の一つになっている。	特になし
02	企業・求人情報発信サイ ト運営事業	指標:鎌倉市企業・求人情報発信 サイトへのアクセス数(件)  指標分析: 市からのお知らせの情報更新に努 め、またバナーの作成、窓口等で の周知により目標が達成できたと 考える。	市内の企業が有する技術や製品・ サービス等魅力ある企業情報を発 信し、地元企業のPR、企業間での ビジネス交流、求職者と企業のマッ チング機会の創出及び地域産業の 活性化を図る。	労働環境対策事業で実施していた生涯 現役促進地域連携鎌倉協議会の運営を 令和5年度から市が担うことになったた め、当該協議会で運営していたサイトを 閉鎖し、企業・求人情報発信サイトに統 合する。
03		指標:鎌倉市企業・求人情報発信 サイトに登録している事業者の数 (件)  指標分析: 市からのお知らせの情報更新に努 め、またバナーの作成、窓口等で の周知により目標が達成できたと 考える。	同上	同上
04	リーフレット作成	指標:設定しない  企業誘致施策や補助事業につい てのリーフレット作成に係るものであ るため。	商工課の制度の周知に必要なリー フレットの作成を行う。	特になし
05	テレワーク推進事業	指標:鎌倉テレワーク・ライフスタ イル研究会に登録しているテレワー クスペースの数(箇所)  指標分析: コロナ禍によりテレワークの普及が 進んだことにより、テレワークス ペースの数は1カ所増え、目標に 近づくことができた。	テレワークに関する研究、実証実 験、周知啓発、情報発信等を行 い、市民のテレワークニーズに対 応し、多様な働き方を支援する。	市民のワーク・ライフ・バランスを整える ため、Withコロナ、Afterコロナにおける 在宅ワーク・テレワーク環境の整備を図 る必要がある。 民間が先導して進めているワーケーシ ョンを支援し、本市の歴史的遺産や自然 環境の体感を通じて、将来的な移住へ の流れにつなげる。
06	経営アドバイザー派遣助 成事業	指標:経営アドバイザー派遣事業 補助金による助成件数(件)  指標分析: 実績に基づく目標を設定し、達成し た。	中小企業者等が、経営革新、販路 拡大、経営の安定化、創業等に係 るアドバイスを受けるための経費 の一部を助成する。	特になし
07	環境共生施設整備助成 事業	指標:環境共生施設整備費補助金 による助成件数(件)  指標分析: 実績に基づく目標を設定し、達成し た。	製造業、情報通信業及び自然科学 研究所の持続的な発展を図るた め、環境保全施設(防臭、防音、省 エネ設備等)、雨水活用施設及び 太陽光発電施設の整備を行うため の経費の一部を助成する。	特になし
08	中小企業経営基盤強化 助成事業	指標:経営基盤強化事業費補助金 による助成件数(件)  指標分析: 実績に基づく目標を設定し、達成し た。	製造業、情報通信業及び自然科学 研究所を営む中小企業者の持続 的な発展を図るため、産業財産権 取得、展示会等出展、ISO認証等 取得、BCP策定及び人材育成を行 うための経費の一部を助成する。	中小企業等が行うIT関連の基盤整備や 広報・マーケティングなどの充実が図ら れるよう補助メニューの拡充に向けて検 討する。あわせて、補助対象業種の拡 大について、検討する。
09	企業誘致等助成事業	指標:企業立地整備費等補助金に よる助成件数(件)  指標分析・目標未達の理由 実績に基づく目標を設定し、達成し た。	「働くまち鎌倉」の実現を目指し、市 内に安定した雇用を創出するた め、情報通信業を営む事業者が行 う事業所のリフォームや賃借、シェ アードオフィスの設置に対する経費 の一部を助成する。	企業が設置するサテライトオフィスへの 補助メニュー拡充について、検討を行 う。あわせて、補助対象業種の拡大につ いて、検討する。

10	起業家スタートアップ支援事業	指標:加盟店舗1,500店舗、総決済額10億円以上  指標分析・目標未達の理由 加盟店舗数については、積極的に周知を行ったが、情報が行き届かなかった点やPOSレジとの連携ができない等によるハードルによるものと考えている。 総決済額は、約13億円となり、達成した。	鎌倉商工会議所とともにキャッシュレス決済の推進、市内経済の回復に一定程度効果があった。	きめ細やかな周知手法、公式ホームページの使い勝手等が課題となった。今後のキャッシュレス決済の推進については、中小企業経営基盤強化支援事業の補助メニュー拡充の中で検討していく。
----	----------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	1 民間によるサービスで代替できる事業がある
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	○-負担導入済 ○-2 適正な受益者負担を導入している
	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している
協働	協働実施済	鎌倉テレワーク・ライフスタイル研究会登録会員 協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>「働くまち鎌倉」の実現に向け、引き続き、企業の立地・留置きにより産業の活性化と雇用機会の増大を図る。そのために、地域資源を活用した事業や新規成長産業をはじめとした企業立地・設備投資への支援、各種補助制度の運用、テレワーク環境の整備を行う。</p> <p>また、若年者等の起業準備者に対し、起業に向けた考え方を整理し、ノウハウを取得するためのプログラムを、神奈川県起業家創出拠点「HATSU鎌倉」と連携して実施する。</p> <p>さらに、個別事業者への支援に向けた中小企業経営基盤強化事業費補助金の補助メニュー、補助対象業種の拡充や、企業立地支援に向け、サテライトオフィス誘致のための企業立地整備費等補助金の改定及び深沢地域整備事業用地を神奈川県地域産業プロジェクトに位置付けるための働きかけを行う。</p>					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	鎌倉市企業・求人情報発信サイトへのアクセス数						単位	件
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
サイトの利用状況を図るため >令和2年度にサイトをリニューアルしたことで、アクセス件数がふえていることを加味して設定。前年度3%増	目標値	-	125,502	184,910	190,457	196,171	202,056	
	実績値	121,847	179,524	174,378				
	達成率	-	143.04%	94.30%				

指標(単位)	鎌倉テレワーク・ライフスタイル研究会に登録しているテレワークスペースの数						単位	箇所
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
テレワークの利便性の向上状況を図るため >令和5年度以降は鎌倉市商工業振興計画の主要KPI中間年度の目標値とした。	目標値	-	15	18	20	20	20	
	実績値	11	15	16				
	達成率	-	100.00%	88.89%				

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	企業誘致条例の制定状況(県内各市 ※政令指定都市を除く)							
団体名	鎌倉市	横須賀市	三浦市	逗子市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市
他市実績	○	○	○	×	○	○	○	○
	南足柄市	厚木市	大和市	海老名市	座間市	綾瀬市	秦野市	伊勢原市
	○	○	○	○	○	○	○	○

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	企業誘致は市の経済発展のためにも必要であり、他市と競合する性質のものであることから、今後も引き続き取り組んでいく。
----------------------	-----------------------------------------------------------